

令和8年度施策評価シート（評価対象年度：令和7年度）

基本政策【分野】	災害や危険から命と暮らしを守る強くしなやかなまちづくり【防災・安全分野】	施策	04_交通安全	所管部長 取りまとめ所属	市民生活部長 市民協働課		
施策の内容	交通事故を防止するため、関係機関と協力した交通安全パトロールや啓発活動により、市民の交通安全に対する意識の向上を図ります。 また、自転車等駐車場の整備等により、駅周辺の安全な自転車利用環境を整えるとともに、交通危険箇所等の点検に基づく、交通安全施設の整備や関係機関への要請等を通じ、交通環境の改善を図ります。						
めざす姿	交通ルールの遵守やマナーの向上、安全な交通環境づくりの推進により、交通事故が減少し、市民が安全・安心に暮らしています。						
重点事業	自転車等駐車場整備事業						
施策構成事業	交通事故防止対策事業費		交通安全対策事務費				
評価							
進捗評価	概ね順調	評価の判断理由	成果指標の実績値は交通事故発生件数が287件と令和6年度実績に比べ68件増となり、特に車両単独事故が前年比37件増と大きく増えました。一方で、交通マナーが良いまちだと感じる市民の割合は4.3ポイント増となっています。関係機関と協力して交通安全施策を着実に実施できしており、重点事業の取組状況も計画どおり実施できている状況であるため、総体としては概ね順調に進捗していると判断できます。				
施策推進上の課題・環境変化	令和6年5月に道路交通法の一部改正が公布され、令和8年4月より16歳以上の自転車の交通違反者に反則金を納付させる「青切符」による取締りが導入されること、また、自転車関連の事故も増加傾向にあり、広く市民に自転車の交通ルール周知等を行っていく必要があります。 自転車等駐車場については、老朽化した施設や利用者ニーズへの対応といった施設の課題、人件費高騰による収支悪化や適正な利用料金設定といった管理・運営の課題に対応するため、具体的な施設整備や、管理運営手法導入の方法について検討する必要があります。 自転車等駐車場の利用料金については、周辺の民営駐車場とのバランスを踏まえ、見直し等改善の必要があります。						
評価の経過	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	順調	順調	概ね順調				
施策推進の方向性							
方向性	継続						
総評・今後の施策推進方針	交通安全対策においては、関係機関と協力して交通安全対策を実施した結果、施策推進については順調に進捗しているものの、交通事故は増加している状況であり、事故そのものを減少させるためにも、市民一人ひとりの交通安全意識のさらなる向上と交通マナーの定着に向けた啓発活動を継続するとともに、引き続き関係機関との連携を維持し、交通安全対策を推進していきます。 また、自転車等駐車場については、「自転車等駐車場整備計画」を基に、駅周辺の安全な自転車利用環境の整備等を行うとともに、老朽化した伊勢原駅南口自転車駐車場の修繕を含め、利用者ニーズに対応した効果的な再整備を進めていきます。						
成果指標							
成果指標名	現状値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 9
指標の定義		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値(方向性)
交通事故（人身事故）発生件数	263件 (R3)	228件	219件	287件			235件
市内における交通事故（人身事故）発生件数							
交通マナーが良いまちだと感じる市民の割合	50.3% (R4)	50.8%	51.6%	55.9%			↗
市民意識調査で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合							
重点事業の取組内容							
事業名	自転車等駐車場整備事業						
事業内容	自転車等利用者の利便性を向上させるため、自転車等駐車場整備計画に基づき、伊勢原駅及び愛甲石田駅周辺における市営自転車等駐車場の再整備を進めるとともに、老朽化している伊勢原駅南口自転車駐車場の修繕に向けた取組を進めます。						
取組工程	項 目		令和7年度				
			計画		実績		
	自転車等駐車場の集約化（伊勢原駅北口）		再整備等に向けた検討／管理運営手法の検討／料金改定に向けた検討		再整備等に向けた検討／管理運営手法の検討／料金改定に向けた検討		
	自転車等駐車場の集約化（伊勢原駅南口）		再整備・修繕に向けた検討／管理運営手法の検討／料金改定に向けた検討		再整備・修繕に向けた検討／管理運営手法の検討／料金改定に向けた検討		
	自転車等駐車場の集約化（愛甲石田駅）		再整備等に向けた検討／管理運営手法の検討／料金改定に向けた検討		再整備等に向けた検討／管理運営手法の検討／料金改定に向けた検討		
令和7年度取組内容	施設整備に係る市の負担を抑制し、施設の再整備・修繕と管理・運営を一体的に行う手法の導入について検討しました。						

重点事業以外の取組内容	
令和7年度 主な取組内容	●交通事故防止対策事業にかかる取組では、交通事故防止を図るため、適切な箇所に注意喚起看板を設置したほか、児童のヘルメット着用を促すため、中学生以下の自転車用ヘルメット購入助成を実施しました。 ●交通安全対策にかかる取組では、幼少期からの交通安全意識の向上を図るため、関係機関と協力し交通安全教室を開催しました。また、伊勢原交通安全協会をはじめとした交通安全関係団体の活動を支援するとともに、各団体との連携強化を図りました。